

科目名	担当教員	学期	単位
国際政治演習A	中村 英俊	前期	2

講義概要

リアリズムとリベラリズムとのパラダイム論争に注目しながら、「英国学派」の国際政治理論・思想を理解することを試みる。共通の理論研究文献を読みながら、特に修士課程1年生に対して、各自が修士論文で扱う事例研究のテーマを探すための助言をする。

参考までに私は今まで、理論研究としては、特に国際統合論・比較地域統合論（例えば「安全保障共同体」概念）を重視している。また、事例としては、ヨーロッパ統合（EU）、ヨーロッパとアジアとの統合現象の比較、G7/G8サミット、中東・湾岸地域をめぐる日欧政治関係、イラク問題やテロ対策をめぐる日米欧関係、国連・国際機構における意思決定、などを研究対象としている。

前期の「国際政治演習A」では、共通の学問的認識（基盤）を醸成する目的で、教科書を輪読する。まずは、Jackson and Sorensen 2006を部分的に読む。つぎに、Hurrell 2007の読了を目指す。

シラバス

- [第1回] オリエンテーション
- [第2回] リアリズム（概論）
- [第3回] リベラリズム（概論）
- [第4回] コンストラクティビズム（概論）
- [第5回] 英国学派（概論）
- [第6回] Hurrell 2007, Chap. 1
- [第7回] Hurrell 2007, Chap. 2
- [第8回] Hurrell 2007, Chap. 3
- [第9回] Hurrell 2007, Chap. 4
- [第10回] Hurrell 2007, Chaps. 5-6
- [第11回] Hurrell 2007, Chaps. 7-8
- [第12回] Hurrell 2007, Chap. 9
- [第13回] Hurrell 2007, Chaps. 10-11
- [第14回] Hurrell 2007, Chap. 12
- [第15回] まとめ

教科書

- ・ Robert Jackson and Georg Sorensen, Introduction to International Relations: Theories and approaches (3rd Ed., Oxford University Press, 2006).
- ・ Andrew Hurrell, On Global Order: Power, Values, and the Constitution of International Society (Oxford University Press, 2007).

参考文献

- ・ Hedley Bull, The Anarchical Society: A Study of World Politics (1977; 3rd Ed., Palgrave, 2002)（ヘドレー・ブル『国際社会論』臼杵英一訳、岩波書店、2000年）
- ・ Martin Wight, International Theory: The Three Traditions (London: Leicester University Press, for The Royal Institute for International Affairs, 1991)（マーティン・ホワイト『国際理論：三つの伝統』佐藤誠ほか訳、日本経済評論社、2007年）

評価方法

演習への積極的な参加。報告のレジュメやレポートなどを総合的に評価する。

関連URL

備考

国際政治経済学コースの「国際政治演習A」との合併授業。
教科書については、各自で調達して入手してもらう予定です。いずれにせよ、出版社（Oxford University Press）のHPやネット書店の情報などで、内容を調べておいてください。